

## 柔道整復科

## 施術概論 4

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	奈良 和彦			実務 経験	有	職種	医師				

## 授業概要

部位別に具体的な外傷の成り立ちや治療方法を学びます。

## 到達目標

診察では、患者の訴える自覚症状（愁訴）を聴取することから始まり、患者の身体に現れている異常な他覚的所見（徴候）を眼でみたり、手で触ったりして観察する。ついで、診察を通じて患者の異常状態なり病名を判断する。この行為を診断という。診察から診断について学ぶことで柔道整復師本来の業務範囲に活用できることが目標である。

## 授業方法

教科書を中心として授業を進める。医療従事者は症状・診断法・注意すべき顔貌や愁訴など、いくつかの疾患を念頭に置きながら、それらのなかからその患者に最も妥当と考えられる疾患名を判定できる能力を必要とされる。柔道整復師として臨床現場においても求められる鑑別診断の知識を、内科学を学ぶことで育成する。

## 成績評価方法

試験・課題等を総合的に評価する。

## 履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。

## 教科書教材

教科書は「一般臨床医学解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。

回数	授業計画
第1回	代謝疾患（糖尿病・脂質異常症・痛風・骨粗鬆症など）
第2回	内分泌疾患①（間脳・下垂体機能異常や甲状腺疾患）
第3回	内分泌疾患②（副甲状腺疾患や副腎疾患）

## 施術概論 4

第4回	血液疾患①（貧血の種類・症状・診断・治療）
第5回	血液疾患②（白血病や悪性リンパ腫・骨髄腫など）
第6回	腎泌尿器疾患①（乏尿・無尿・排尿困難・血尿など）
第7回	腎泌尿器疾患②（腎不全）
第8回	7週までの振り返りと確認演習
第9回	膠原病①（リウマチ性疾患）
第10回	膠原病②（SLE・強皮症・多発性筋炎・ベーチェット病など）
第11回	感染症①（細菌感染症・真菌感染症）
第12回	感染症②（ウイルス感染症）
第13回	環境因子による疾病（熱中症・低体温症・高山病・潜函病）
第14回	13週までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ